

事故調査制度と医療安全」と題したご講演を頂戴しました。院内死亡例の管理上の問題、事故調査委員会の在り方、進め方など、今後の院内事故調査の運用に大変有意義な内容のご講演でした。

学術集会終了後の懇親会でも、講師の長谷川先生を囲み活発な意見の交換が行われ実りの多い会となりました。

開催にあたりご協力頂きました皆さまに心からお礼申し上げます。

第16回栃木県支部学術集会

学術集会会長：上都賀総合病院病院長 十川康弘



会場風景

2016年10月22日(土)に上都賀総合病院スカイホールを会場として、日本医療マネジメント学会第16回栃木県支部学術集会を開催いたしました。

「入退院支援の極意」をテーマに基調講演、シンポジウム、ポスター発表のプログラムで開催し、県内外から195名の参加をいただきました。

基調講演では、医療コンサルタントとしてPFM (Patient Flow Management) の立ち上げ支援実績のある、プライスウォーターハウスクーパース株式会社シニアマネージャーの柴田敏明先生に「東海大学型PFMとその向かう未来像」と題してご講演をいただきました。「入退院支援の極意」をテーマとしたシンポジウムでは、東海大学PFMを起源とする県内の4つの急性期基幹病院の担当者に、各病院の取り組みを発表していただき、その後全体討論を行いました。ポスター発表には、県内の病院や老健施設等より19題の応募をいただきました。最後に本学術集会が盛会のうちに終了できましたことを、ご協力いただきました関係各位に深謝申し上げます。

第15回山口県支部学術集会

学術集会会長：総合病院山口赤十字病院院長 名西史夫



会場風景

2016年11月12日(土)、山口県総合保健会館にて第15回山口県支部学術集会が開催されました。今回のテーマは『チーム医療と医療安全ー医療安全の進むべき姿を求めてー』とし、一般演

題が11題、ポスター・クリティカルパス発表が10題の発表が行われました。当日は194名とたくさんの参加者に恵まれ、特別講演に『医療安全は「人」の理解から～ある医療事故・事故調査の教訓～』として日本赤十字社九州ブロック血液センター所長の入田和男先生と『イマドキの手指衛生』として健和会大手町病院副院長の山口征啓先生にご講演して頂きました。どちらの内容も我々医療人としては大変関心が高いものとなっており、参加者は熱心にお二人の話に耳を傾けていました。

本学術集会開催にあたりご支援・ご協力いただきました方々、ご参加いただきました皆様には心より感謝申し上げます。

第7回愛媛県支部学術集会

学術集会会長：社会医療法人北斗会大洲中央病院院長

大久保 啓二



会場風景

2016年11月23日(水)、社会医療法人北斗会大洲中央病院にて、第7回愛媛県支部学術集会が開催されました。「故郷(ふるさと)を支える医療～地域医療

を守るために今、何をすべきか」をテーマに掲げ、県内全域から216名の参加をいただきました。特別講演として、当学会理事長である宮崎久義先生より「日本医療マネジメント学会の目指してきたこと、そしてこれから」と題して講演を賜り、また、テーマの基調講演として、市立宇和島病院院長梶原伸介先生より「地域連携システム(きさいやネット)の現況と課題」のご講演を頂きました。また2題のランチョンセミナーと41題の一般演題があつまり、最後まで熱心な討議が続きました。

今回は特に、今まで発表がなかった施設からの演題発表や学会の活動に興味を持って参加していただいた学会非会員参加者が132名にのぼり、これからの学会活動が県下全域に広がるきっかけとなる学術集会となりました。最後に、本学術集会開催にあたりご支援とご尽力頂きました皆様方に厚く御礼申し上げます。

第10回宮崎県支部学術集会

学術集会会長：宮崎県立日南病院医療連携科部長

木佐貫篤

2016年12月3日(土)に日南市南郷ハートフルセンターで開催しました。日南市では初開催でしたが253名もの多くの方にご参加いただきました。メインテーマは「地域包括ケア時代におけるクリティカルパスと地域医療連携を考える」とし、特別講演で松永高志先生